

日本のエスタブリッシュメント

高校人脈からの系譜

横田由美子
&本紙取材班

連載⑤

削減のあり方検討会の座長も務める



水戸第一高校

水戸第一高校時代の思ひ出として、OBが一緒に挙げるのが「歩く会」だ。

約70代のコースを団体歩行と自由歩行で2日に分けて歩く。卒業生の作家・恩田陸の小説「夜のピクニック」のモデルに

小説「夜のピクニック」のモデルになった

伝統の70代「歩く会」

好きな女の子の話で盛り上がったと話す 公明党 山口代表



山口公明党代表

表は、そう振り返る。山ですが、それが楽しみで口の時代は、一学年45した」と、山口はあくま〇人中、女子生徒の数は「楽しい思い出」とし30〜40人程度。夜通し歩いて話す。しかし、受け止

「好きな女の子」の話。民主党の藤田幸久。イントがあり、沿道の保護者がテントを張って飲食物を用意してくれる。「季節の食材を使った食事も果物が置いてあるの



鳥居元慶応義塾塾長

2人とも早世したが、長兄の親友だったのが鳥居泰彦・元慶応義塾塾長だ。鳥居は旧水戸藩の御殿医の流れをくむ家柄。

水戸一高で藤田の兄は柔道部、鳥居は剣道部に所属していた関係もあり、親しくしていたという。「鳥居さんがお葬式も取り仕切ってくれた」と、藤田は話す。

実は、山口も鳥居とは定期的に会う仲だ。茨城県には、公立高校では事実上、唯一の女子校とされた水戸第二高校がある。通称は高女。東京駅近くの割烹料理店には、その高女出身の女将がいる。そこで毎月第2水曜日に開かれる「一水会」という会合がある。鳥居ら昭和30年の卒業生が中心となった同窓会だが、山口も参加することがあるという。

(敬称略)
木曜掲載